

まほらいな市民大学の様子

令和7年3月11日（火）

『 市民大学 歌声広場 パート2』

～みんなで歌おう 童謡・唱歌・歌謡曲～ 』

演奏者 アンサンブル紅麗葉(くれは)



和楽器（箏）と洋楽器(フルートと鍵盤ハーモニカ、ピアノ、ギター)のそれぞれの音色を生かしつつ、「和と洋の響艶」として親しみやすく楽しい音楽活動をしている「アンサンブル紅麗葉」と、「まほらいな市民大学の学生」が、一緒になってなつかしい曲を聴いたり歌ったりして「楽しいひとときの歌声広場」を創りました。

演奏した曲は、「春の海」「レモンアカシア」「花」「高校三年生」「君といつまでも」「ブルーシャトウ」「長良川艶歌」「夢一夜」「いちご白書をもう一度」「なごり雪」「野に咲く花のように」といった唱歌・歌謡曲・演歌・フォークソングなど幅広い曲で、歌声で会場がたいへん盛り上がりました。また、ピアノカで童謡や時代劇のテーマ曲を2～3曲重ねて演奏し、「曲名をあてるクイズ」もありました。

学生からは「歌うこと、音楽を聴くことで心が晴れ、スッキリした。」「少ない楽器でもこの迫力、音色、素晴らしかった。音楽でその当時のことを懐かしく思い出しました。」「生の楽器の音色がきれいで良かった。大きな声で皆と一緒に歌えて楽しかった。」「3月11日。東日本大震災から14年目の日。“もしもピアノが弾けたなら”“花は咲く”といった曲に心が洗われて、涙・涙でした。」「これからも日々の暮らしの中で音楽に親しんでいきたい。」といった感想がありました。